

第2章 地域の概況

第1節 人口及び世帯数

本市の人口及び世帯数について、2018(平成30)年9月末時点の人口は47.9万人、世帯数は22万世帯となりました。人口は横ばい、世帯数は微増となっており、2018(平成30)年の世帯当たりの人員は2.2人/世帯となりました。

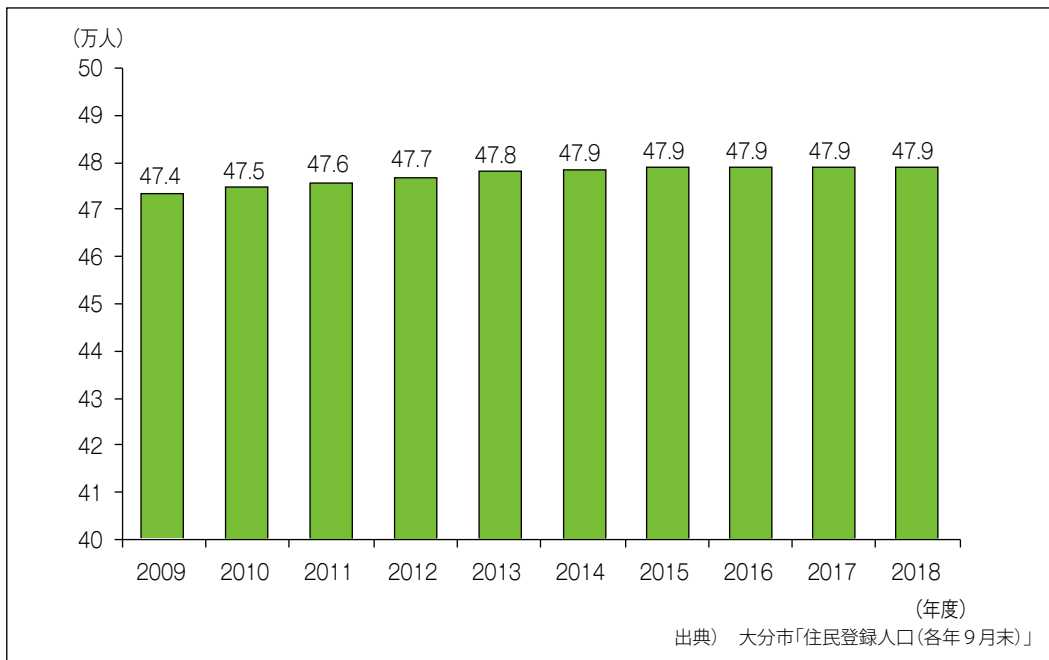


図2-1-1 人口の推移

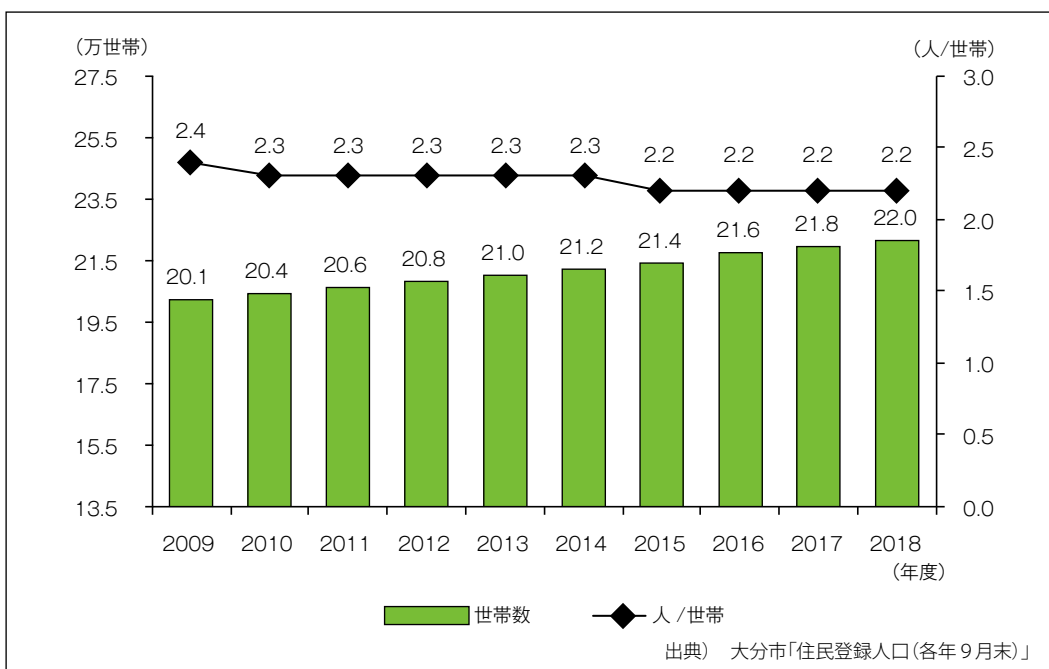


図2-1-2 世帯数及び世帯当たり人員の推移

第2節 大分市総合計画における位置づけ

基本構想

「大分市総合計画 おおいた創造ビジョン 2024」においては、2016(平成 28)年度から 2024(令和 6)年度までの 9 年間の計画期間とし「笑顔が輝き 夢と魅力あふれる 未来創造都市」の実現をめざして、6 つの基本的な政策を掲げ、それに沿った各種施策を展開しています。これら 6 つの基本的な政策の概略は以下のとおりです。

廃棄物関連については、基本的な構想の中の「将来にわたって持続可能な魅力あふれるまちづくり(都市基盤の形成)」と「自然と共生する潤い豊かなまちづくり(環境の保全)」に関連する事業として位置づけられます。

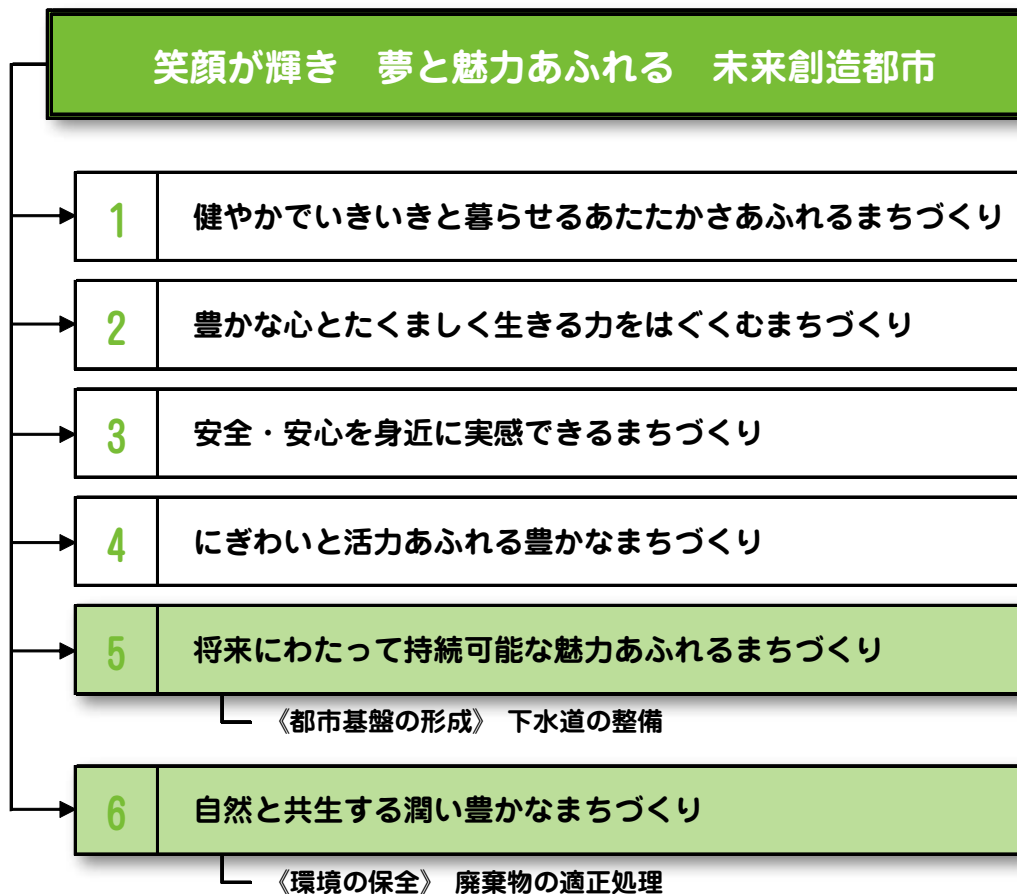


図 2- 2- 1 おおいた創造ビジョン 2024 の基本的な政策体系

(1) ≪環境の保全≫廃棄物の適正処理

【基本方針】

ごみの発生回避、発生抑制、再使用、再資源化を基本とし、廃棄物の適正処理に努め、循環型社会の形成を図ります。また、豊かな自然や快適な生活環境を保つため、市民・事業者等との協働による地域に密着した美化運動を展開します。

【主な取組】

- ①家庭ごみの減量とリサイクルの推進
- ②事業系ごみの減量とリサイクルの推進
- ③処理施設の整備
- ④収集体制の検討
- ⑤関係自治体との連携
- ⑥災害廃棄物の処理
- ⑦産業廃棄物の減量化、資源化及び適正処理の推進

【目標設定】

指標名	現状値 2018(平成30)年度	目標値 2024(令和6)年度見込
ごみ排出量	160,153t(実績)	153,465t

(2) ≪都市基盤の形成≫下水道の整備

【基本方針】

汚水処理及び雨水排除の都市基盤施設としての公共下水道の計画的、効率的な整備に努めます。

あわせて、経営の健全化などに取り組み、安全・安心な下水道サービスを提供します。

また、公共用水域の水質保全のため、公共下水道の整備とともに、浄化槽などの汚水処理施設の普及を促進します。

【主な取組】

- ①公共下水道の整備促進
- ②経営の健全化
- ③安全・安心な下水道サービスの提供
- ④浄化槽の普及促進と適正な維持管理の指導
- ⑤危機管理体制の強化

【目標設定】

指標名	現状値 2018(平成30)年度末現在	目標値 2024(令和6)年度見込
下水処理人口普及率	63.4%	72.0%

※下水処理人口普及率(%) = 公共下水道処理人口 / 大分市総人口 × 100